リハビリ部
ブログより

植物にも愛を！ALL LOVE ガーデニング

● 5月31日

愛全病院リハビリ部は、心も体も元気にする園芸療法を取り入れています。これまでコロナウイルスの影響で縮小して行っていましたが、今年度より、本格的に再開します！畑をやります！！数年、手つかずで荒れていた畑に、園芸リーダーたちの熱い指導のもと、セラピストが畑を耕し、野菜の種や苗、ジャガイモを植えました！ここからは、患者様と一緒に野菜を育てていきます。愛全病院のある南区は、広大な土地が多く、農家を営んでいた方や、家庭菜園を楽しんでいた患者様がたくさんいらっしゃいます。土に触れ、植物を育てることで、もっとお元気になっていただきたい！毎日の水まきにも気合が入ります。秋には収穫祭も予定しておりますのでお楽しみに！！

● 6月28日

先月ご紹介いたしました園芸療法。さっそく患者様とお花を買いに行き、病院の中庭と2階のテラスに植えました！今回は、リハビリスタッフ企画の「買い物ツアー」と、「お花植えの会」の様子をご紹介いたします。「買い物ツアー」は、近くのホームセンターまでお出かけしました。院内が華やかになる様子を思い浮かべながら、それぞれお好きな花を購入してきました。患者様から花についてのレクチャーを受けながら、リハビリスタッフも花選びをがんばりました！「お花植えの会」では、色合いや配置を考えながら、買ってきたお花をプランターに植えました。植物に詳しい患者様がたくさんいるので心強いです。これから毎日、中庭やテラスのお花を眺めるのが楽しみですね！

● 収穫祭 8月29日

5月に種まき・苗植えをしました『ALL LOVE ガーデニング』。毎日、患者様と一緒に雑草をとったり、水を撒いたり、日々野菜たちの成長を見守ってきました。今年植えたのは、枝豆、じゃがいも、トマトです。出来はいかに！？園芸リーダーの号令で、さあ、収穫です！トマトは甘く、採れたてを思わずパクリ！枝豆は大豊作！！じゃがいもは…可愛らしいサイズのものが多く、患者様から「あ～、栄養が足りなかったかな～？」と、来年へのアドバイスをいただきました。収穫したての枝豆は、その場で枝から豆をとり、その日のうちに茹で上げました！塩を控えめに茹でた枝豆は、豆の味がしっかりしていて、患者様も職員も大絶賛でした！枝豆を食べながら「ビールがほしいな～。」と仰る患者様にみんなの笑顔がこぼれました！収穫したじゃがいもを楽しむ機会も予定していますので、お楽しみに！

外来担当医師表

診療科目：内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科
脳神経内科・リハビリテーション科・歯科

		月	火	水	木	金
午前	1 診	堀本	岡田(昌)	上杉	松井	井手
	2 診	岡田(祐)	山田	宮本	岡本	
	3 診		土橋（北大）	土橋（北大）		
	歯 科	小崎	小崎	小崎	小崎	小崎
午後	1 診	井手	堀本	休診（当番）	岡田(昌)	岡田(昌)
	2 診	森谷			森谷	
	3 診	藤田			藤田	
	歯 科	小崎	小崎	小崎 笹谷	小崎	小崎
外来診療部長(代理)：松井　看護科長：鈴木						

医療法人愛全会 愛全病院
〒005-0813
札幌市南区川沿13条2丁目1番38号
Tel.011-571-5670 Fax.011-572-8005
https://www.aizenkai.or.jp

アクセスマップ

じょうてつバス　「川沿12条2丁目」下車
- 地下鉄南北線［真駒内駅］から
  硬石山行〈南95番〉、石山1条6丁目行〈南95番〉
- JR札幌駅仮設バス乗場
  ㉕ 硬石山行〈南55番〉
  ㉖ 定山渓線又は豊平峡温泉行〈7番〉、藤野４条５丁目行又は豊滝行〈7番〉

優

愛全病院広報誌
2024 Summer Vol.17

令和6年夏号

● 看護部の取組み紹介
- チームの一員として活躍する外国籍看護師と介護職員
- 身体拘束最小化チームにおける看護部の活動

● 主な行事・出来事
- 研修会「装具の活用」
- 地域住民向け健康セミナー「いきいきラブラブ体操」
- 立命館慶祥高等学校「体験学習」
- 近隣の町内会・自治会との合同開催「盆踊り大会」

● リハビリ部ブログより
- 「植物にも愛を!ALL LOVE ガーデニング」

生命を大切にする心
思いやりを大切にする心
学ぶことを大切にする心

発行元：愛全病院広報委員会

看護部の取組み紹介

■チームの一員として活躍する外国籍看護師と介護職員

愛全会グループでは、平成27年(2015年)より、外国人の就労支援を開始し現在21名の方が在籍しています。そのうち、愛全病院看護部では15名が、院内各所で活躍しています。職種は看護師6名、介護福祉士2名、ケアワーカー3名、技能実習生(介護)4名で、国籍は、中国の方9名、ミャンマーの方6名です。

素敵な笑顔と真摯な対応で患者・利用者様と関り、専門性を発揮したケアを提供しています。看護部では、キャリアアップ・介護福祉士資格取得に向けた支援を行っています。

看護部長　仁木恵美子

浴衣を着て盆踊りを楽しみました。

外国籍職員からのひと言
大切にしたいことや目指すこと

利用者様に楽しい生活や時間を提供できる介護福祉士を目指しています。
（技能実習生）

患者様に身体的・精神的に負担がかからないようにケアすることを心がけています。これからも頑張ります。　（看護師）

患者様一人ひとりを尊敬しながらしっかりとケアをしています。これからも頑張っていきます。
（介護福祉士）

優しく、利用者様を元気づけられるような介護福祉士になりたいです。
（技能実習生）

患者様のお話しがよくわかるようになりたいので、休みの日も勉強しています。いつか介護福祉士になれるようチャレンジしてみたいです。　（ケアワーカー）

■身体的拘束最小化チームにおける看護部の活動

看護部では、「医療ケアを受ける者に、行動を抑制する行為は行わない」の方針に基づき、やむを得ず身体拘束を行う場合には、患者様にとって何が最善なのかを常に考え、患者の人権・尊厳を守るケアを実践しています。

今年度より、多職種で構成された身体的拘束最小化チームが組織化され病棟ラウンドが開始となりました。看護部身体拘束廃止委員会もラウンドに参画し身体拘束解除に向けた取組みをしています。

担当副看護部長

身体的拘束最小化チームラウンドの様子

看護部身体拘束廃止委員会の様子

看護部身体拘束廃止委員会では、身体拘束ゼロに向け、各委員が「身体拘束に関する指針」を浸透させ、多職種カンファレンスを開催しています。また、今年度より、委員でチームを編成し、毎月、病棟ラウンドを実施しています。身体拘束開始時より解除に向けた取組みを考え、病院の身体拘束等適正化・虐待防止検討委員会と連携しながら、身体拘束ゼロを目指し活動していきます。

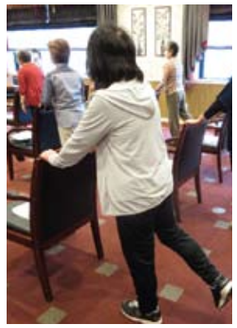
委員長

主な行事・出来事

研修会「装具の活用」北海道大学病院リハビリテーション科 向野雅彦教授

6月7日に北海道大学病院リハビリテーション科の向野教授をお招きし、「装具の活用」について研修会を開催しました。装具療法の目的から、装具の種類と特徴、選び方などリハビリにすぐ活かせるような内容が多く、とても学びの多い研修会となりました。

地域住民向け健康セミナー「いきいきラブラブ体操」



リハビリ部と栄養科のコラボ開催

今回は、リハビリ部と栄養科とのコラボ企画として6月20日に開催しました。リハビリ部は健康体操を実施。栄養科は脱水予防についての講演と水分・栄養の吸収が良い軽食の試食を実施。地域の方も楽しんでご参加いただけました。

立命館慶祥高等学校「体験学習」

8月5日、6日の2日間に立命館慶祥高等学校の医学部を目指す26名の生徒が来院し体験学習を実施しました。病院長、看護部長の講話の後、エコー機器やリハビリ機器の操作・体験を行い、生徒たちは興味津々に話を聞き、体験に参加していました。

近隣の町内会・自治会との合同開催「盆踊り大会」

8月9日、10日の2日間に盆踊り大会を開催しました。当院の駐車場が会場となり、縁日と屋台が並びました。イベントでは盆踊りやよさこい演舞、抽選会の他、子供たちを集めて線香花火を楽しんでもらいました。来場者は1,000人を超え大盛況となりました。